

①タイトル 戦争放棄だけじゃない？憲法 9 条

②戦争放棄 戦力の不保持 交戦権の否認 をうたった憲法 9 条の中身、皆さんご存知でしょうか？

日本国民は、正義と秩序を基調とする国際平和を誠実に希求し、国権の発動たる戦争と、武力による威嚇又は武力の行使は、国際紛争を解決する手段としては、永久にこれを放棄する。前項の目的を達するため、陸海空軍その他の戦力は、これを保持しない。国の交戦権は、これを認めない。

昔学校で習ったけど忘れてしまったという方も、ぜひ思い出していただきたいです。戦争はもう 2 度とこりごりだと、保守から革新、今でいう自民党から共産党までが党派を超えて、賛成し作り上げた、「もう 2 度と戦争をしない」というわたしたちの国の宣言です。

③戦後 75 年以上、9 条があったからこそ、日本人は戦争で人を殺し殺されずに過ごしてこられました。ベトナム戦争帰還兵、元海兵隊員の故アレン・ネルソンさんは「アメリカにも、世界の全てにも憲法 9 条があってほしい」と語っていました。アメリカのリチャード・アーミテージ元アメリカ国務副長官も、「米軍の戦争に日本を参加させたくても、必ず憲法 9 条がバリエードのように道をふさぐのです」と発言しています。

でも実は憲法 9 条は平和の問題だけではないということ、皆さんは知っていますか？

④自民党は、防衛費を GDP 比 2%にするとっています。2022 年度の防衛費は、5 兆 3145 億円。これを倍にするとっています。国家予算というひとつのお財布の中で、この財源はどうなるのでしょうか？

ただでさえ、安倍政権下で防衛費は増額されてきました。防衛費と言えは聞こえはいいですが、まあ、軍事費ですよ。他の経費を削り、防衛費に 3000 億円もの私たちの税金をまわしてきたのです。防衛費を 2 倍にすると、社会保障を削ったり、増税あるいは国債で借金をしたりしなければ財源を確保できないでしょう。

⑤防衛費を上げれば、私たちの暮らしが苦しくなります。憲法 9 条は、戦争を防ぐと同時に、私たちの税金を際限なく防衛費につぎ込む歯止めになってきたわけです。ただでさえ、20 年間日本の賃金はほぼ横ばいであがっていません。9 条に自衛隊が書き込まれ国防優先の憲法に変えられたら、生活苦、貧困が今以上に加速していきます。生活が苦しくなり、政府がなんとかしろ！と思っても、自民党が憲法に追加しようとしている緊急事態条項の発令で反対の声もあげられなくなります。

⑥とはいえ、安全保障上防衛費を上げるのは仕方がないんじゃない？と思う方もいらっしゃるかもしれません。でも、安全保障は、軍備だけで成り立つものではないんです。ロシアに対して、先進各国がまずとったことは、経済的圧力、経済制裁でした。経済・金融・財政面での基盤がしっかりしていないと安全保障は成り立ちません。アジア太平洋戦争で、約 230 万人が戦死しましたが、そのうち半分以上の兵士は餓死でした。日本は島国です。食料自給率 37%という国です。食べ物が外国から入らなくなったら？ウクライナ国民の多くはお隣ポーランドに避難しています。日本は島国でどこに逃げるのでしょうか？お隣の国々との友好関係がなければ難民も受け入れてもらえませんね。

個別の国々が自分の国を防衛力で守る時代はもう時代遅れです。戦争は必ず自衛名の下に始まり、その行き着く先が核保有競争や二度の世界大戦でした。ASEAN のように年 1000 回も国々が集まって対話を積み重ねる外交で、安全保障を確立することが国連憲章の理念にも憲法 9 条にも繋がります。敵基地攻撃能力で専守防衛を逸脱することは国連憲章第 51 条違反です。国際司法裁判所も、必要以上の反撃は自衛権行使として認められない。国際法違反だと判断しています。「力には力を」「軍備には軍備を」その結果が世界大戦へというあやまちを繰り返さないようにしなければなりません。

⑦あなたが思う平和とはなんですか？というアンケートがあります。

2022年3月のインターネットによる調査で、対象は15～59歳のケータイユーザー1000人（男性500人、女性500人）です。

「世界中から紛争・戦争がなくなること」「貧困や飢餓がなくなること」「核が廃絶されること」  
憲法前文と憲法の三大原則、平和主義ですね。

「日常生活において何の心配もなく暮らせること」「家族と平穏に暮らせること」「人間として最低限の生活ができること」  
基本的人権の尊重ですね。

これらを実現するには、独裁政権ではできません。

主権在民、国民主権、私たちが国家の主権者だからこそ実現できるわけです。

平等権、性別や年齢、職業、生まれた場所などに関係なく、全ての人が等しい扱いを受けられる、  
自由権、自由に生きること。自由にものを考えたり、出版や発表をしたり、好きな場所へ旅行できる。

参政権、政治に参加する権利。社会権、人間らしい豊かな生活ができる。

病気などで生活に困った人が支援を受けたり、無償で義務教育を受けたりできる。

この国の平和を守る、という政治家は軍事力を強めることしか言いませんが、こういうことを実行できているのでしょうか？

⑧憲法9条がなくなるということは、際限なくわたしたちの税金が防衛費に使われて、社会保障が削られ、払う税金が増えること。政府が社会保障をケチったしわ寄せは、現状無償のケア労働をかなりの確率で担っている女性にいくわけです。

家事と育児、介護を女性がタダでやらされ仕事をして収入を増やして外注しようとしても、保育園が足りなければ働きにもいきません。

⑨もうすぐ参議院選挙です。

憲法を変え、緊急事態条項により政府に強い権限をにぎられ、社会保障を削られる政治を選ぶのか、平和で平等に生きられて、安心できる暮らしをめざす政治に変えるのか、私たちの手に未来はゆだねられています。選挙に行きましょう。